



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 人 宮原良治 編集人 下町豊重 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部60円

1月の意向 教皇様の意向のために祈りましょう 【一般】平和 【宣教】奉獻生活 【日本の教会】キリスト者の使命



# 感謝のうちに「信仰の伝達」 自分の信仰の喜びや素晴らしさから出発

## 新年おめでとうございませう。

2015年も、主イエスキリストからの恵みと平和が、福岡教区民の上に豊かにありますようにお祈り致します。

### 【昨年の取り組み】

福岡教区では、3年かけて取り組んだ「信仰生涯学習」の成果を踏まえながら、昨年は「信仰の伝達」という目標を掲げました。それは、フランシスコ教皇が使徒的勧告『福音の喜び』の中で、次のようにご指導してくださっているからです。「キリストとの出会いは、心と生活全体を喜びで満たし、その喜びは常にキリストと共に生み出され、新たにされます。」

### 【今年の取り組み】

今年の福岡教区の目標は、昨年と同様に「信仰の伝達」を繰り返します。その理由は、「信仰の伝達」は広範囲で多岐に亘る課題であり、世の終わりまで継続すべき目標でもあるからです。第二の理由は、昨年は、現状とその課題の把握と分析に力を入れましたが、目標の発表が4月であったことや、司祭の移動が多かったことなどが重なり、十分な取り組みが出来たとは言えず、その目標が教区全体に浸透するためには、もう少し時間をかけて取り組む必要があると判断したからです。

喜びと善は常に広がっていくものであり、喜びと善は分か合うことによって根づき発展するのです。いのは自分を与えることによって成長しますが、孤立した楽な生活は衰えるだけです。他者にいのちを与える時にこそいのちは得られ、成熟するのです。これが福音宣教です（使徒的勧告『福音の喜び』1〜10参照）と指摘しながら、「現状維持を目的とした司牧から、積極的に宣教する司牧へと移行する必要があります。受身の態勢

よって始められた。2015年1月1日、第48回目を迎える世界平和の日のテーマは、「もはや奴隷としてではなく、兄弟として（仮訳）。このテーマは聖パウロのフィレモンへの手紙（15-16）を思い起こさせるものとなっている。このメッセージで教皇は、人間が人間を搾取すること、で、尊重と正義と慈愛に基づく人と人の関係を深く傷つけ、他人の基本的人権を蹂躪し、自由と尊厳を損なっている現実、関心を持つよう招いている。前半部で教皇は、過去と今日における様々な奴隷制の形態と、その原因となる複雑な背景を見つめている。さらに後半部では、この憎むべき現象に打ち勝つため、皆が共通の解決策を見つけていくよう励まされている。そして、教皇は、人を奴隷として扱うこと、無関心でいることをやめ、兄弟愛を広げていくことが大切と述べている。

## 世界平和の日 教皇メッセージ



カトリック教会は、毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように祈っている。ベトナム戦争下の1968年、教皇パウロ6世の呼びかけに、このメッセージで教皇は、人間が人間を搾取すること、で、尊重と正義と慈愛に基づく人と人の関係を深く傷つけ、他人の基本的人権を蹂躪し、自由と尊厳を損なっている現実、関心を持つよう招いている。前半部で教皇は、過去と今日における様々な奴隷制の形態と、その原因となる複雑な背景を見つめている。さらに後半部では、この憎むべき現象に打ち勝つため、皆が共通の解決策を見つけていくよう励まされている。そして、教皇は、人を奴隷として扱うこと、無関心でいることをやめ、兄弟愛を広げていくことが大切と述べている。

＜テキストはバチカン放送局 <http://ja.radiovaticana.va/> からのものです＞

## 時の話題

### 奉獻生活者の年

いよいよ待降節第一主日をもって「奉獻生活者の年」開幕の吉報が全世界に鳴り響きました。日本の教会でも去る11月22日に東京教区・長崎教区、12月6日には大阪教区と相次いで「奉獻生活者の年」開始ミサが捧げられました。世界中の奉獻生活者にとって、主のご降誕の喜びと相まって「キリストの真正な証人となる」たまもの命を生きる感謝の瞬間でもあつたことでしょうか。昨今、日本の各地では今後、祈りの集い・講演会・研修会などが計画されているそうです。それぞれの教区や修女連等の計画に連帯しながら、聖霊の息吹きに心を開いて過ごしたいものです。最後に勧めます。この好機に、1996年に発布されたヨハネ・パウロ二世の使徒的勧告「奉獻生活」の結び「奉獻された人々へ」と「将来に目を向けて」をお読みください。パバ様の厳しくも温かい「激励と勧告」「真情の吐露」に出会えます。シヨフィアノの幼キエニス修道士 Sr黒木紗耶子

感謝の雰囲気の中でこそ、大きな恵みに充分に心えきれない自分の不十分さや欠点も見えてきますし、それまでこだわり続けた偏見や独断や人間関係の歪みなども素直に見つめ直す事が可能になるからです。 【信仰伝達の対象】 感謝を前提にしながら、昨年の取り組みをもう一度再確認したと思えます。信仰伝達の対象として、第一は、通常の信仰生活を営んでいる人々。第二は、洗礼を受けているが教会への帰属意識が薄く、信仰による慰めや経験が乏しい人々。第三は、キリストをまだ知らない人々（11参照）が挙げられます。 このことを念頭に置きながら、①教会での青少年の信仰伝達、②家庭での信仰の伝達、③地域社会の福音化、④教会との関わりが乏しい人々への対応、⑤事業所（教育・福祉・司牧センターなど）での信仰伝達にチャレンジしたいと思えます。そのためには、現状の把握と分析が大事だと思

【奉獻生活者の年】 フランシスコ教皇は2014年11月30日から2016年2月2日（主の奉獻）までを「奉獻生活者の年」と定めました。 奉獻生活者とは、「修道会」、「在俗会」、「使徒的生活の会」に所属する人たちのことです。「使徒的生活の会」とはパリ外国宣教会、ミラノ外国宣教会、聖コロンバン会、サン・スピリトス会などのように、特別な使命と目的のために特殊な絆で結ばれている共同体のことです。 日本における「信仰の伝達」は、聖フランシスコ・ザビエルを初めとして奉獻生活者によって始まり、続けられたと言っても過言ではないでしょう。信仰は神様からの恵みですが、それは人を通してもたらされます。 奉獻生活者を通してもたらされ、発展し、豊かにされた信仰伝達の営みを見つめ直すことも、教区目標の一つのあり方として意義に満ちていると思えます。つまり、奉獻生

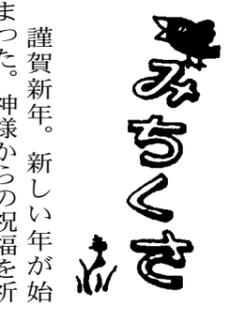
【最後に】 今年も来る11月23日（月）「勤労感謝の日」に「教区の日」を実行します。教区民が司教座聖堂（大名町教会）に集まり、教区目標に取り組んだ1年間の活動とその営みをミサ聖祭の中で神様に奉納したいと思えます。 カトリック福岡教区司教 ナドミニコ宮原良治

### 奉獻生活者の年

2014年11月30日～2016年2月2日



ロゴ：「今日の教会における奉獻生活、福音、預言、希望」という言葉が記されている。



謹賀新年。新しい年が始まった。神様からの祝福を祈らずにはおられない。学校関係は新年と共に3学期を迎えた。「まよめの学期」とも言われるが、学童がどのような歩みをして来たのか、「成長の姿」がよく見える時期である。学校での一年間は楽しかった、有意義だったと言ってくれることを期待しながら、大切なこの時期を共に過ごしたいものである。自信と勇気と希望を神様から頂けるよう祈りたい。社会的にも同じではあるまいか。年頭で価値ある一年をお願いすると同時に一年間の「まよめ」に入っていくのである。過去を振り返りながら、現実を見つめ、未来に向けて（良い結果が与えられるように）備えていくこと。この繰り返して、段々と成長・発展していくのである。▼神様は、人間を自分の喜びの相手として創られた。そして、人間の為すことを「善し」としてくださり、祝福して下さる。それは、人間に与えられた自由意志と知性と感情がよくコントロールされ、正しく用いられる時にある。そしてそれは、その行為が神や人にとって心地良いものとなる時にある。隣人と関わる時、私たちの考え、行いが神様の喜びとなっていくように、また、隣人にとっての「善し」となるよう願いたい。更に、私たちは関わる人にイエスを見つけ、イエスにするようにその人々を愛していきたい。関わることによって自らの心も大きく、強く、しなやかに育っていくように願ひながら...。新しい一年も「善し」となるように祈り、努力していきましょう。(S)



「聖体授与の臨時の奉仕者」任命式

愛の奉仕につとめよう

2014年11月30日(日)、カテドラル大名町教会で「聖体授与の臨時の奉仕者」の任命式が宮原良治司教の司式で行われた。新規42人、更新127人の計169人の信徒・修道者が奉仕者として任命、派遣された。



任命書に見入る奉仕者

牧山神父は最後の挨拶で、キリストからのこの使命を真摯に受け止め、よりよく果たすために養成された奉仕者に謝意と励ましの言葉を述べ、それぞれの小教区でよい働きがなされるよう祈っていると結んだ。

一つになるため スープ de ランチ

熊本・手取教会



写真は、スープ de ランチ。スープは、ポタージュ・ボン・ファミ

「福音の喜び」「新しい福音宣教」そして教区目標の「信仰の伝達」、信徒一人ひとりの使命が問われる中、食を通して共同体を育てていきたいと新たな取り組みが進んでいる。

企画発案者の平田悠貴子さん(手取教会信徒)は赴任したばかりの主任司教の言葉にハッとしました。「私達は主日に教会に来るの、一つになるためです。それから度々「一つになるため」という言葉が繰り返された。説教台から「一つになるため」という言葉を聞いて、具

「このスープランチが、人々が教会に目を向ける一つのきっかけになれたらいいな」と夢を膨らませます。

福岡教区 社会福音化委員会福祉部主催

人生の完成への道程に寄り添う

人生は楽な課題ばかりではないが、その過程は意義のあるものである。イエスは、死はすべての終わりではなく永遠の命に入るチャンスだと約束しておられる。この約束を信じ、人生の道程を最後まで意義あるものとして歩み続けていくには、この信仰と希望を同じにする仲間が必要である。その仲間として歩んでみたいと望む人のための育成プログラムが実施された。



人の最期の過程に寄り添う意義を語る Sr. 泉

2014年 第67回 福岡市民クリスマス

清心学園理事長の渡辺和子シスターが「四人目の博士」と題して講演。「この最も小さな者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのだ。」(マタイ 25・40)という言葉の通り、今日私たちができること、しなければならぬことは、弱い立場の方に手を差し伸べることだと述べた。更に、マザーテレサとのエピソードを通して、身近にいる小さな人への手を差し伸べる大切さを強調した。

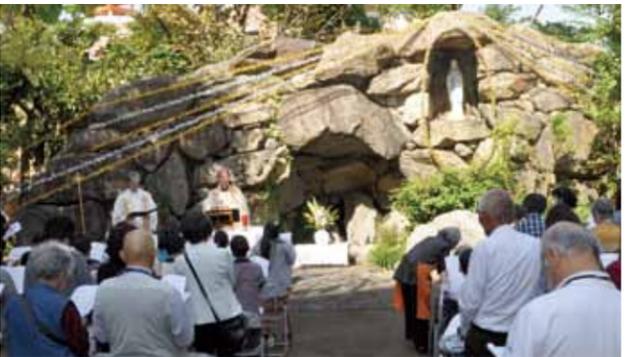


優しく語る Sr. 渡辺和子

苦しみの中で共にいる神

「やすらぎの集い」はミラノ外国宣教会員で聖マリア病院のチャプレンを務めた、故リッカルド・マグリニ神父が始めたみ言葉の祭儀を中心とした集い。当時、マグリニ神父が患者訪問の際に感じた祈りの必要性。療養中の方々の「ここから先のやすらぎ」を願ひ、患者や家族と一緒に

祈る集いとして2001年から続いている。晴天の中、宮原良治司教と森山信三神父(久留米教会)の共同司式、久留米教会の少年少女聖歌隊が聖歌を担当し集いが行われた。聖マリア病院にて療養中の方とその家族、病院職員、ボランティア、聖マリア学院の学生、地域の信者ら103人が参加した。



聖マリア病院聖堂横のルルドの前で今年もみ言葉の祭儀



☆マザーテレサ 来て、わたしの光にならなさい!

マザーテレサ 著 マザーテレサのほろほろ笑み、救われた思い

☆その時のために 私のエンディングノート 家族の送りを経験した信者が経験に基づいて編集した、すべての人に向けてのエンディングノート。「その時のために」自分の思いと必要事項を書き記し、ご家族に必要なに応じて読んでいただく構成。

☆あなたのために私は生まれた 聖テレサの生涯とは 東京カールメル会女子修道院 編

価格 700円+税

不動産全般/売買・賃貸・管理 存んでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 聖マリア学院 聖マリア病院

# 信仰の伝達

## キリスト教一致祈禱週間

1月18日(日)～25日(日)  
『イエスは「水を飲ませてください」と言われた。』(ヨハネ4:7)  
福岡キリスト教一致祈禱会



日時：1月25日(日) 17～18時  
説教者：武藤 謙一主教  
(日本聖公会九州教区 主教)  
司式者：西岡 裕芳 牧師  
(日本基督教団・福岡警固教会)  
場所：日本基督教団 福岡中部教会  
(福岡市中央区大名2-4-36)  
☎092-731-7173  
交通手段：地下鉄 空港線  
[赤坂] 下車徒歩約3分

## 北九州地区聖書講座

年間テーマ：イエス・キリストに従って歩む教会  
～ヨハネによる福音書に照らされて～  
日時：2月1日(日) 14:00～16:30  
テーマ：ヨハネによる福音書の紹介と他の福音書との違い  
場所：カトリック小倉教会  
主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

## 一日黙想会へのお招き

テーマ：「福音の喜び」～日常をイエスと共に～  
日時：2月11日(水・祝) 9時半受付  
講師：片柳弘史 神父 (イエズス会)  
場所：コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会仙水町修道院  
会費：1,500円(昼食代を含む)  
申し込み先：シスター東城 ☎093-871-1166  
メール cndshinkou@yahoo.co.jp  
締切：1月31日(土)

## 諸宗教対話グループの研修会

日時：2月11日(水・祝) 14:00～16:30  
場所：カトリック手取教会  
講師：フランコ・S神父(真命山院長)  
内容：新指針『Dialogue in Truth and Charity』  
(真理と愛徳に基づいた対話)の説明  
関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。  
問合せ先：長濱 携帯 090-1199-4057

## 福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp  
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

福岡教区の中で活動させていたいただき、やがて80周年を迎えようとしている矢先に、黒崎修道院を閉鎖せざるをえなくなりました。当修道会にも社会の少子高齢化の波が及び、使命遂行半ばで福岡教区を離れていくことは大変残念なことです。  
例えば、何も無い、何も持たない戦前の修道会を受け入れてくださったお世話していただき、感謝のうちに。

### 援助修道会 黒崎修道院が 昨年12月末で閉鎖

【挨拶】

ただいたお陰で、高齢者から幼児まで多くの人たちとの関わりを持つことができました。活動は北九州から天草までと範囲を広げ、イエス、マリアの精神を基に頑張ることが出来ました。閉鎖後、修道女達は東京と広島の方に赴き、奉仕活動をして参ります。永きに亘り、ご支援ください。誠にありがとうございます。皆様のお力を借り、教区報へ積極的に原稿をお送りください。更に、広報部では、「教区の日」2014の冊子作りも手掛けています。ご期待ください。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

代表 シスター 柏瀬百合子

## 案内板

## 会合と催し

## 1月のこよみ

### 福岡黙想の家ご案内 1月

※12月30日(火)～1月3日(土)は休館です  
10日(土)～12日(月) 福岡教区クルシヨ  
17日(土)～18日(日) 第5回 月例黙想会【参加者募集中】  
18日(日)～24日(土) 聖アウグスチノ修道会黙想会(空室0)【2月】  
8日(日)～14日(土) カトリック神学生黙想会(空室10)  
10日(火)～11日(水) 聖マリア在俗会黙想会(空室0)  
14日(土)～15日(日) 第6回 月例黙想会(参加者募集中)  
\*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385  
Email: f-mokuso@fmokuso.com(アドレスを変更しました)  
インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

### 真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い  
年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編  
・日時：1月8日(木) 10時～14時半  
・内容：「いと高きところには栄光、神にあり、地には平和、御心に適う人にあれ。」(ルカ2,14) 詩編1、34、117、19、150  
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)  
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター  
・次回：2月12日(木)「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」(マルコ1,15) 詩編51、21  
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

### カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月10日、24日、2月7日 10時～12時  
場所：カトリック大名町教会小聖堂

- 1日(木) 神の母聖マリア・世界平和の日  
元旦ミサ(カテドラル10時)  
↑C. バスチ(2002年黒崎教会)
- 2日(金) 初金ミサ(浄水通教会10:00)・サーリスの集い  
聖バジリオ・聖グレゴリオ教会博士
- 4日(日) 主の公現
- 6日(火) 福岡地区女性の会新年会
- 8日(木) 常任司教委員会
- 10日(土) 唐津カトリック幼稚園新園舎落成式  
福岡教区クルシヨ(12日まで)
- 11日(日) 主の洗礼・キリスト教講座(手取教会13:00)
- 12日(月) クルシヨ講話・ミサ(福岡黙想の家11:00)  
↑ヨゼフ 竹森道(2011年久留米教会)
- 17日(土) 聖アントニオ修道院長・幼子イエスの集い
- 18日(日) キリスト教一致祈禱週間(～25日)・北九州地区懇親会
- 19日(月) 教区司祭の集い
- 21日(水) 聖アグネスおとめ殉教者
- 24日(土) 聖フランシスコ・サレジオ教会博士  
カトリック幼稚園中堅教職員研修会  
カトリック児童福祉の日・キリスト教一致祈禱集会
- 25日(日) 司祭総会(～27日)
- 26日(月) ↑R. オーウェンス(2007年菊池教会)
- 27日(火) 聖トマス・アクィナス
- 28日(水) 福岡小笠原玄也一家殉教記念日
- 30日(金) 聖ヨハネ・ボスコ ↑V. マクナリー(2003年島崎教会)

- 2月
- 1日(日) 聖心ウルスラ修道女会終生誓願式・福岡地区信徒司祭合同集会
- 2日(月) 主の奉獻
- 3日(火) 高山右近殉教400年式典・ミサ

■ゴチックは司教日程

## 福岡

- ◆震災のための祈りのリレー  
震災後46ヶ月目  
(日時) 1月11日(日) ミサ7時から 夕の祈り19時から  
(場所) カトリック西新教会  
(問合せ先) 携帯090・2305・5191 Br.阿部
- ◆福岡ホスピスの会 1月11日(日)の勉強会は2月22日(日)に変更となりました。  
(日時) 1月17日(土) 14時～16時半(場所)カトリック大名町教会3階会議室(参加費)600円茶菓子代(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田
- ◆福岡地区結婚準備セミナー(日時) 1月17日から2月14日 毎週土曜日の全5回 19時～21時半(場所)カトリック大名町教会(参加費)カップルで1万円(問合せ先)☎092・741・3687
- ◆青年のための勉強会(日時) 1月18日(日) 15時から(場所)カトリック大名町教会4階会議室(テーマ)キリシタン史(講師)江戸の禁教令以後(講師)溝部修司(京都・望洋庵)
- ◆在世フランシスコ会集会(日時) 1月18日(日) 14時(場所)高宮フランシスコ会修道院在会集会所(指導)ジヨ
- ◆ソンの神父(カプチン修道会)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎
- ◆カルメル在会集会(日時) 1月19日(月) 10時半から(場所)福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話(指導)中川博道神父(カルメル会)(問合せ先)☎095・828・2350 鶴池
- ◆福岡召命を共に祈る会(日時) 1月20日(火) 13時半(毎月第3火曜日)(場所)カトリック大名町教会(内容)ミサと話し合い(問合せ先)☎092・921・4532 山口紀子
- ◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 1月20日(火) 11時から(場所)聖クララ寮(内容)天使ミサ(問合せ先)☎096・380・5686 堺
- ◆ラスキン・黙想と祈りの集い(日時) 1月30日(金) 19時45分から(場所)カトリック大名町教会 小聖堂(問合せ先)携帯090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)
- ◆こころの健康セミナー(日時) 2月22日(日) 14時から(場所)福岡黙想の家・ログハウス(テーマ)日本人口減少社会(講師)小宮豊氏(精神科医)(問合せ先)☎0940・32・1173 矢田

- ◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時～12時半(場所)カトリック大名町教会(内容)賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先)☎092・521・2403 蓮尾
- ◆美野島司牧センター  
あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ●ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分 ●越冬期ホームレス支援夜回り 毎週金曜日20時(1月2日は休み) ●路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 M.コトス神父

## 北九州

- ◆小倉祈りの集い(日時) 1月23日(金) 13時半から15時(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難会)(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先)☎090・3985・5209 松田
- ◆主日の福音を味わう集い(日時) 1月25日(日) 14時から16時まで(場所)コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会仙水町修道院(問合せ先)☎093・871・1166 シスター東城

## 佐賀

- ◆佐賀祈りの集い(日時) 1月7日(水) 10時。毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武
- ◆熊本  
◆日本カトリック看護協会福岡支部例会(日時) 1月11日(日)14時から(場所)熊本みころ病院(内容)講話と分かち合い(問合せ先)☎096・324・6211 シスター1竹内
- ◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 1月22日(木) 11時(場所)カトリック健康教会(連絡先)健康教会☎096・368・2825 浦川務神父
- ◆熊本地区結婚準備セミナー(日時) 1月24日から2月21日 毎週土曜日の全5回 19時～21時半(場所)カトリック手取教会(参加費)カップルで1万円(問合せ先)☎096・352・3030

## 編集後記

未来に向かう心が躍る。新しい年にどんなことが待っているのだろう。「待っていてはいけない。自分から迎える。」「仕事も自分から食っていく」と、溜まる「方だ」とも聞いた。いずれも、自ら積極的に動かなければ良い結果は得られないということであろう。心身を整えながら、先に進んで行けるようにしたい。稲垣良典先生のコラムを長期間ありがとうございました。「奉獻生活者の年」が始まり、愛と奉仕に生きる方々のコラムが入ります。読者の皆様も教区報へ積極的に原稿をお送りください。更に、広報部では、「教区の日」2014の冊子作りも手掛けています。ご期待ください。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

**COSMOS**  
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**  
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3  
TEL 0942-77-3199  
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会  
**聖マリア病院**  
医科・歯科臨床研修指定病院 総合産産期医療センター  
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院  
救命救急センター 地域災害拠点病院  
\*入院基本料(一般病棟7:1)  
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL0942-35-3322(代表)  
FAX0942-34-3115  
http://www.st-mary-med.or.jp

**ユスト高山右近**  
列聖列福へ向けて  
揺るぎない信仰に根差した生涯  
「神のしもべユスト高山右近殉教 400年記念ミサ」  
日時：2015年2月3日(火) 13時半～16時半  
場所：神戸文化ホール  
主催：日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会  
※ミサの詳細、公式巡礼等についてはカトリック中央協議会のHPをご覧ください。

Sancta Maria, Mater Dei  
神の母聖マリア、世界の平和のために  
今もいつまでもお祈りください  
休業日：1-4、11、12、18、25  
メディアによる福音宣教のために...  
**サンパウロ福岡宣教センター**  
10:00-18:00(月-土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場あり  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930